IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月24日（水）　13：00～17：00

安全に関するセッション

2021年11月25日（木）　9：30～17：00

働き方に関するセッション／環境に関するセッション

2021年11月26日（金）　9：30～17：00

デジタルに関するセッション①／デジタルに関するセッション②

場　　所	一般財団法人日本海事協会　東京本部（オンライン配信）
主　　催	IoS-OP コンソーシアム（運営：株式会社シップデータセンター）
申 込 URL	https://www.event-form.jp/event/21467/IoSOP202111

お問合せ：IoS-OP コンソーシアム事務局　E-mail：consortium@shipdatacenter.com

IoS-OP 国内船社向けセミナー

全体プログラム

11月24日（水）		11月25日（木）		11月26日（金）	
		9:30 | 11:40	**働き方** 基調講演 事例紹介 ソリューション紹介	9:30 | 12:30	**デジタル①** 基調講演 事例紹介 ソリューション紹介
		ランチ		ランチ	
13:00 | 17:00	**オープニング** 基調講演 **安全** 基調講演 事例紹介 ソリューション紹介	12:30 | 17:00	**環境** 基調講演 事例紹介 ソリューション紹介	13:30 | 17:00	**デジタル②** 基調講演 事例紹介 ソリューション紹介

IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月24日（水）　13:00-17:00

テーマ：**安全**

時刻	タイトル	講演者		キーワード	講演概要
13:00-13:05	**オープニング・メッセージ**	商船三井テクノトレード株式会社 取締役副社長　川越 美一 氏			
13:05-13:35	**岐路に立つ国内船主 ～海運好況の陰に潜む リスクとは～**	株式会社日本海事新聞社 メディア事業局　編集部　部長 幡野 武彦 氏 ※諸事情により講演者が変更となりました		国内船主、船主	「海運大手、リーマン前の水準を超え過去最高を記録」。2020年2月、新型コロナウイルスが顕在化した際、海運業界の誰が足元の海運好況を予想しただろうか。海運市況の高騰は、本来、日本船主にとって追い風になるはずである。しかし、実態としては「打ち手がない」と嘆く船主がいる。本ウェビナーでは海運好況の陰に潜む日本船主のリスクを読み解く。
13:35-14:05	**データ提供者の不利益を 排除する運航データ共有の 仕組み**	株式会社シップデータセンター 事業推進部　部長　森谷 明		データの所有権・オーナーシップ、データ共有・利用権限、簡易的なアプリ、船社のメリット	安全運航・GHG排出量の削減などを目的に、運航データの活用が進んでいます。関係者が同じデータを見て、業務を改善することが望まれる時代となりました。本講演では、IoS-OPで整理した秩序あるルールに基づくデータ利用について紹介します。
14:05-14:35	**P＆I保険事故**	日本船主責任相互保険組合 ロスプリベンション推進部 ロスプリベンションチーム　マネージャー 日野 岳彦 氏		P＆I保険、港湾設備損傷（パイロット乗船時）、感染症	本船を取り巻く環境は、船舶の大型化リスク、感染症リスク、そしてサイバーリスクといった新たなリスクにさらされており、P＆I保険事故からもその傾向が顕在化しております。今回のIoS-OPセミナーに、それらのリスクを軽減するヒントがあると思います。
14:30-14:50		休憩			
14:55-15:25	**主機モニタリングシステムによる船舶安全運航への貢献** e-GICS Advance / CMAXS e-GICSX	株式会社三井E&Sマシナリー テクノサービス事業部ディーゼルサービス部　技術グループ　主管 志岐 純平 氏		AI異常予兆検知、機関モニタリング・診断レポートシステム、CBM、船舶安全運航貢献	AIを用いた高精度な異常予兆検知を実現するハイエンドモニタリングシステムCMAXS e-GICSX、それをベースに機能を絞込んだリーズナブルなe-GICS Advanceの船舶安全運航に貢献する機能と発展性を、異常検知事例を交えて紹介します。
15:25-15:55	**海運業界を取り巻く サイバーリスクについて**	一般財団法人 日本海事協会 海技部　部長　斎藤 直樹 氏		サイバーセキュリティ	海運業界のサイバーセキュリティについてはこれまで継続的に情報提供を進めておりますが、今回もその最新動向について、入手している情報を余すところなく、すべてお伝えいたします。
15:55-16:25	**船舶セキュリティの最適解 ～安全な航海のために 今できること～**	株式会社インテリジェント ウェイブ 第三システム開発本部 セキュリティ営業部　佐藤 杏 氏		サイバーセキュリティ、ゼロデイ攻撃、マルウェア対策、最先端技術、サイバー保険付帯	デンマークの海運企業A.P.モラー・マースクが採用した「Morphisec」は、脆弱性パッチ適用など頻繁なアップデートが難しい船舶内のwindows環境を保護するサイバーセキュリティ対策製品です。海運業界向けのサイバー保険も付帯しております。
16:25-16:55	GPS**妨害・欺瞞攻撃への 自衛手段** GPS**セキュリティ**	商船三井テクノトレード株式会社 電装部　部長　佐野 義浩 氏		GPS、Jamming、Spoofing、ジャミング、スプーフィング	現代の船舶は常にGPS信号を電子海図等主要航海計器で利用している。GPS信号が妨害された時、主要航海計器、通信装置が麻痺する可能性が高い。GPS妨害から船舶を守る具体的手段を紹介する。

IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月25日（木）　9:30-11:40

テーマ：**働き方**

時刻	タイトル	講演者		キーワード	講演概要
9:30- 9:50	**労働環境に関する 船級の取り組み**	一般財団法人 日本海事協会 機関開発部　部長 柴田 幸久 氏		労働環境、海上労働条約、感染症対策、Innovation Endorsement	ClassNKは海上労働条約に基づき検査及び証明を実施しておりますが、今後、感染症対策や労働環境改善への先進的取り組みを行っている船舶へのNotation付与を行う新たなサービスを展開します。本講演はClassNKのそのような取り組みについて紹介します。
9:50- 10:20	NAPA Logbook **電子Logbookを用いた船舶管理の質と効率の向上 事例紹介**	NAPA Japan株式会社 Shipping Solution シニアセールスマネージャー 申 東燮 氏		電子ログブック、船舶管理、工数削減、旗国承認、MARPOL	電子logbookは従来の紙のlogbookと同じ役割となりますが、工数削減やデータ共有の点で大きな利点があります。本講演ではNAPA Logbookの基本概要に加え、電子化のメリットについてご紹介します。
10:20- 10:50	PCS（Parts Catalogue System）**のご紹介**	株式会社三井E&Sマシナリー 西日本チームリーダー 永橋 賢治 氏		容易・確実な部品選定、視覚的に認識可能なWebシステム、容易・確実な注文履歴管理	MES-M Webパーツカタログシステムのご紹介です。乗組員・船舶管理会社の方々の作業負担軽減のため、Web上での部品リスト閲覧、スケッチからの部品選定、見積依頼までを実施出来、関係者での情報共有が可能なシステムとして開発しています。
10:50-11:10		休憩			
11:10- 11:40	**「比国船員とご家族の幸せをご支援する」** MarCoPay**エコシステム概要**	MarCoPay Inc. President & CEO 藤岡 敏晃 氏		船員、船上現金、福利厚生、人材、社会	MarCoPayはフィリピンの船員とご家族、関係者のコミュニティに対し、電子通貨ならびにポテンシャルに見合った金融・優遇サービスをお届けするデジタルプラットフォームです。価値の循環を目指す取り組みをご紹介します。
11:40-12:30		昼食休憩			

IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月25日（木）　12:30-14:10

テーマ：**環境1**

時刻	タイトル	講演者		キーワード	講演概要
12:30-13:10	**船舶からのGHG排出削減に向けた動向とNKの取組み**	一般財団法人 日本海事協会 常務理事　成澤 平 氏 ゼロエミトランジションセンター　主管 山崎 雅雄 氏		GHG、ClassNK ゼロエミッション・サポート・サービス、ZETA、EEXI、CII	本会が展開してる「ClassNKゼロエミッションサポートサービス」の概要、及び2023年から導入されるEEXI規制・CII燃費格付け制度の概要及び本会の取り組みをご紹介いたします。
13:10-13:40	**日本郵船の代替燃料への取組のご紹介**	日本郵船株式会社 工務グループ長　山本 泰 氏		ゼロエミッション、アンモニア、水素、技術開発、洋上風力	水素プロジェクトやアンモニアプロジェクトなどを中心に、日本郵船グループのゼロエミへのチャレンジについてご紹介します。
13:40-14:10	**三井E&Sマシナリーの**GHG（Green House Gas）**規制対応方針**	株式会社三井E&Sマシナリーディーゼル事業部　設計部 基本設計グループ　課長補佐 田口 弘幸 氏		二元燃料機関製造体制確立、アンモニア焚き機関ME-LGIA開発	GHG排出低減効果の高い二元燃料機関ラインナップの拡充及び製造体制確立と、GHG排出ゼロを実現するアンモニア焚きME-LGIA機関開発状況説明を通して、MES-MのGHG排出ゼロの取組みを紹介します。
	GHG**削減におけるIHI原動機の取り組み** ～DU-WinGD 2**ストローク機関**～	株式会社IHI原動機 ライセンス機関製品設計部　部長 野村 守 氏		X-DFエンジン、iCER、可変圧縮比機構、GHG、ゼロカーボン燃料	GHG排出削減へのIHI原動機DU-WinGD2ストローク機関の取り組みを紹介します。ゼロカーボン燃料エンジン開発の状況、その実現までに重要なX-DF機関の性能向上、既存機関における対応を紹介いたします。
	J-ENG UE**エンジンの**GHG**削減に向けた取り組みについて**	株式会社ジャパンエンジンコーポレーション 開発部　部長　江戸 浩二 氏		エンジン、GHG、環境、燃料、ゼロエミッション	J-ENGではUE機関のカーボンニュートラルに向けた取り組みをご紹介致します。GHG削減や将来的なゼロエミッション化に対応するため、アンモニアや水素のようなカーボンフリー燃料を使用するエンジン開発の最新状況についてご説明を致します。
14:10-14:30		休憩			

IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月25日（木）　14:30-17:00

テーマ：**環境2**

時刻	タイトル	講演者		キーワード	講演概要
14:30-15:00	EEXI CII **に向けた ソリューションの紹介**	ナカシマプロペラ株式会社 東京支店　営業グループ次長 竹ノ子 祐二 氏		プロペラ設計、レトロフィット、省エネ機器、EEXI、CII	EEXIやCIIに向け、船の改造・改良は必要となっています。プロペラの観点から、環境対策や省エネに向けて、現状のプロペラを見直し・レトロフィットした場合の効果や方法について説明します。（実例の動画もご紹介予定）
15:00-15:30	NAPA Fleet Intelligence **運航最適化デジタル技術を用いた環境規制対応と燃費削減による本船付加価値向上**	NAPA Japan株式会社 Shipping Solution シニアセールスマネージャー 申 東燮 氏		EU-MRV、EEXI、CII、燃費削減、CO2削減	NAPA Fleet Intelligenceは本船性能の見える化と燃費・CO2削減をサポートするクラウド型サービスです。本講演では基本概要に加え、EEXI・CII 規制対応、EU-MRV の活用、およびShipDCとの協業事例についてご紹介します。
15:30-15:50		休憩			
15:50-16:20	**商船三井グループ 環境ビジョン**2.1 **～**2050**年ネットゼロを目指して～**	株式会社商船三井 環境・サステナビリティ戦略部 部長 島 裕子 氏		GHG、ネットゼロ・エミッション、気候変動、水素、アンモニア	6月に当社は「商船三井グループ　環境ビジョン2.1」を策定し、2050年にGHG排出ネットゼロを目指すことを目標に掲げました。ネットゼロ達成に向けた５つの戦略を中心とする当社グループの取組をご紹介します。
16:20-16:50	**商船三井グループ 技術革新取り組みの今 ～**2050**年ネットゼロエミッションの実現に向けて～**	株式会社商船三井 技術革新本部　技術部　部長 杉本 義彦 氏		技術革新、洋上風力、環境、ゼロエミッション、代替燃料	当社グループの技術革新取り組みのこれまでの振り返りと、安全運航のさらなる高度化と「2050年ネットゼロエミッション」の実現に向けた技術開発ロードマップの概説。その中から「地球の未来に、風で挑む」ウインドチャレンジャーとウインドハンタープロジェクトについてご紹介します。

IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月26日（金）　9:30-12:30

テーマ：**デジタル①**

時刻	タイトル	講演者		キーワード	講演概要
9:30-10:00	**デジタル先進事例 統合船舶運航・性能管理システム【K-IMS】**	川崎汽船株式会社 先進技術グループ　燃費・性能管理チーム長　伊藤 立 氏		電子AB LOG、最適運航支援システム、データ収集、状態・性能監視	当社は「K-IMS]を活用して安全運航、経済運航、環境保全の維持・向上に取り組んでおります。各船から自動送信される運航データを活用することでどのようなメリットがあるのかをご紹介いたします。
10:00-10:20	**新しい認証サービス Innovation Endorsementの概要と現状**	一般財団法人 日本海事協会 デジタルトランスフォーメーションセンター技師　梶田 憲之 氏		デジタル、安全、環境、労働	Innovation Endorsementサービスの概要及び認証実績状況をご紹介いたします。
10:20-10:40	**P&S認証取得製品・ソリューション紹介**	Alpha Ori Technologies Pte. Ltd. 株式会社ウェザーニューズ 川崎重工業株式会社 株式会社サンフレム 日本シップヤード株式会社		デジタル、P&S、Innovation Endorsement	これまでにP&S認証を取得した製品・ソリューションを、各社がご紹介いたします。
10:40-11:00		休憩			
11:00-11:30	**IoS-OPでのデータ保管とデータ利用の紹介（含む技術要件）**	株式会社シップデータセンター 代表取締役社長　池田 靖弘		データ保管、データ取得、データ利用権購入、IoS-OP	IoS-OPのプラットフォームを活用することで得られるメリットと、データフローや各ステークホルダーがIoS-OPを利用する際に必要となる技術的な手順や、データ利用権の購入事例を紹介します。
11:30-12:00	**本船データを活用した保船業務の高度化**	古野電気株式会社 デジタライゼーション推進部　部長 北村 圭介 氏		IoT、IoS、本船データ、モニタリング、デジタル	FOP（FURUNO Open Platform）を活用した本船データ活用基盤の構築について、FOPが提供できること、インフラ構築や運用においての注意すべきポイント、ユースケースなどをご紹介させて頂きます。
12:00-12:30	**スカパーJSAT 船陸間通信の高速化に向けた取り組みご紹介** **インマルサットによる高速大容量通信とサイバーセキュリティ対策**	スカパーJSAT株式会社 モバイル事業部　第1チーム長 野々山 将之 氏 JSAT MOBILE Communications 株式会社 経営管理本部長　兼　マリタイム事業部長　指田 真宏 氏	 	通信、デジタル、IoT、セキュリティ	スカパーJSATは新たな高速VSATサービスを2022年より開始します。JSATモバイルはインマルサットサービスと情報セキュリティ対策をワンストップサービスで提供中です。
12:30-13:30		昼食休憩			

IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月26日（金）　13:30-14:50

テーマ：**デジタル②1**

時刻	タイトル	講演者		キーワード	講演概要
13:30-14:00	**船舶DXの進展と今後の課題**	株式会社MTI 取締役 安藤 英幸 氏		自動運航船、船舶IoT、システムインテグレーション、モデルベース開発	自動運航船に向けた取り組みが国内外で進められており2025年の社会実装が目標になっている。IMOでも自動運航船の条約策定に向けた作業が今後、本格化する見込みだ。船舶DXに関して日本では、船舶IoTについて世界に先駆けた取り組みが進み、船舶IoTに関するISO国際規格を主導し、ShipDC/IoS-OPでのデータ共有ルールの議論でも先行してきた。今後、自動運航船の取り組みやGHG削減では、複雑な制御システム(Complex System)が必要になるが、このシステムインテグレーションにおけるモデルベース開発やシミュレーション活用が今後の課題になる。日本の舶用メーカーが重要な制御システムのプロバイダーになるためには、それを造船所が船としてまとめ、船会社が安全に運航するためには、シミュレーションプラットフォームの活用に日本の海事業界は取り組んでいく必要がある。
14:00-14:20	CBM**ガイドライン第２版**	一般財団法人 日本海事協会 機関開発部　技師　　永橋 歩 氏		CBM、状態監視、リスク、主機、ディーゼル	船上の機器の保守において状態監視保全（CBM）が注目される一方で、どの機器に対してどのような手法で状態監視を行うかに関するガイダンスは少ない。本講演では、ディーゼル主機関に対するCBM導入の検討過程の事例を紹介する。
14:20-14:50	ClassNK CMAXS LC-A /e-GICSX **予防保全の実例と経済効果**	株式会社IHI原動機 技術センター　E&E開発部　DX商品開発グループ　　井上 祐平 氏		CMAXS、LC-A、異常検知、予防保全、LC-A	船内機器の状態診断システムである ClassNK CMAXS LC-A/e-GICSX を用いた主機の維持管理について、予防保全に結びついた事例を交えて紹介させていただきます。
14:50-15:10		休憩			

IoS-OP 国内船社向けセミナー

2021年11月26日（金）　15:10-17:00

テーマ：**デジタル②2**

時刻	タイトル	講演者		キーワード	講演概要
15:10-15:40	ClassNK CMAXS PMS/SPICS/ABLOG**とポータルサイトのご紹介**	株式会社 IMC 船舶ソリューション事業本部 ITシステム部　システムエンジニア 矢崎 由真 氏		船舶管理システム、安全運航、業務効率化	船舶の安全運航とコスト削減の支援を可能とし、また多種多様な機器に必要な保守作業を的確に提供できるクラウド型の船舶保守管理システムについて紹介する。
15:40-16:10	IMC **機器状態診断システム** ADMAX-CMS ADMAX-CMS**による開放点検延伸**	株式会社 IMC 船舶ソリューション事業本部 ITシステム部　システムエンジニア 渡辺 成光 氏		CBM、開放点検延伸、メンテナンスコスト削減、予防保全、状態監視システム	機器の開放検査を延伸するためのCBM。CBMの採用には状態監視が必要であるが、状態監視システムADMAX CMSの診断手法・機能・実績を将来構想とともに紹介する。
16:10-16:40	OCTARVIA Project**の** web**アプリとその活用**	（国研）海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所 流体設計系　系長　　辻本 勝 氏		実海域性能、実船モニタリング、OCTARVIA、ライフサイクル主機燃費、性能評価	海事クラスター共同研究 OCTARVIAプロジェクト（実海域実船性能評価）の研究で開発したプログラムによる実船モニタリングデータ解析とライフサイクル主機燃費を中心に説明します。次期プロジェクトの取り組み内容についても紹介します。
16:40-16:50	**クロージング・メッセージ**	株式会社MTI シニアフェロー　　田中 康夫 氏			
16:50-17:00	**ご参加のお礼**	株式会社シップデータセンター 代表取締役社長　　池田 靖弘			